

議事概要

1 会議の名称

令和８年度第１回長久手市文化財保護審議会

2 開催日時

令和８年７月２１日（火）午後３時から午後４時４５分まで

3 開催場所

長久手市保健センター３階会議室、議題(4)のみ旧加藤家住宅

4 出席者（敬称略）

会 長 杉野 丞

委 員 浅井智志、加藤正樹、服部亜由未、服部 誠、水野智之、
與語雅臣

事務局 暮らし文化部長、同次長、文化財スポーツ課長、課長補佐、
文化財係長、学芸員、主任

5 欠席者（敬称略）

小野佳代

6 会議の公開・非公開

公開

7 傍聴者

１人

8 議題

(1) 会長及び副会長の選出

(2) 審議事項

長久手市教育委員会からの「長久手市文化財保護条例の規定に基づく有形文化財の指定について（諮問）」に対する答申（案）について

(3) 報告事項

ア 三ヶ峯第３号窯の状況について

イ 旧加藤家住宅の国登録について

ウ その他

(4) 旧加藤家住宅の視察

9 問合先

長久手市 暮らし文化部 文化財スポーツ課

電話 0561-56-0627

議事要旨

部長あいさつ

委員自己紹介

<議題1 会長及び副会長の選出>

互選により、会長は杉野丞委員、副会長は小野佳代委員に決定

(小野委員は欠席のため、後日事務局が意向確認済み)

会長あいさつ

<議題2 審議事項 長久手市教育委員会からの「長久手市文化財保護条例の規定に基づく有形文化財の指定について(諮問)」に対する答申(案)について>

事務局 資料に沿って説明

会 長 このことについては、前回の審議会で議論したところであるが、附番について再検討したのでご意見いただきたい。前回議論になったのは、資料5ページにあるように箱につけられた番号にあわせてそれぞれ太刀が収納されているが、箱と中身が混乱しないようにということで、今回、箱に書き改めるよう求めるとしていただいた。

会 長 特に意見がないようなので、それでは、この答申案を教育委員会にご報告させていただく。

<議題3 報告事項 ア 三ヶ峯第3号窯の状況について>

事務局 資料に沿って説明

会 長 14ページの写真について、平成25年と令和8年の13年間でこれくらい劣化するというものの原因は、窯跡の側面や背面に壁がないからという理解でよいか。

事務局 風化が進む原因にはなっている。理由として、壁がないということのほか、たけのこが生えてきたり、動物が入れたりということもある。

会 長 土地の所有者はだれか。

事務局 岩作区の土地を借りている。啓発のため、市民に見ていただくために、土地全体の内、窯跡の部分の土地だけ借りている。窯跡に至るまでの小道は、岩作区の土地を通らせてもらっているのが現状である。

会 長 16ページの第1号窯について、側面と背面にすべてコンクリートで壁があるため保存状態がよいというのなら、今後、保存計画のなかで、第3号窯の周りにも壁面を設置するという計画か。

事務局 具体的な計画まではできていないが、風化の原因となる風を防ぎたい。

方法などは、今はまだ検討段階である。費用、時期なども含めて検討課題としている。

会 長 たけのこについては、竹の根の適切な切除を講じてもらおうとよいと思う。

委 員 所有者は岩作区とのことだが、所有は石作神社かと思う。どういう関係なのか。

事務局 厳密に言えば、石作神社が所有者で、その財産を管理しているのが岩作区である。

会 長 この件については、今出た意見を反映して、適切に保存の処置をしていただければと思う。

<議題3 報告事項 イ 旧加藤家住宅の国登録について>

事務局 資料に沿って説明

会 長 資料3の2によると、移築に伴い、数多くの市民が作業に参加したということだが、市民の反応はどうだったか。

事務局 資料3の2の解体ワークショップは参加者18名で、こちらは、以前から古民家ワークショップに参加いただいていた方が多かった。また、移築工事中のワークショップは、学校を經由して募集をしたところ、家族連れをはじめ多くの参加があった。市内に古民家があるということを知ったり、寄せ書きをする中で瓦の重たさを知ったりといった学びがあった。足場もまだあり、足場を上がって見ていただくこともでき、大変興味を持っていただけた。

会 長 旧加藤家住宅についての細かな点は、この後、現地で説明したり質問したりしていただく形とする。

<議題3 報告事項 ウ その他>

事務局 資料に沿って説明

会 長 文化財マップに、主な古窯と古墳の2つの表があるが、市の指定は神明社第2号古墳のみという理解でよいか。

事務局 そのとおりである。

会 長 今回愛知県立大学が調査した古墳は、文化財として指定されているものか。

事務局 指定されていないものである。

会 長 できるだけ市としても協力体制をとれるとよい。継続的に、産官学の

協力のもとで、基礎的な調査を行っていけるとよいと思う。

委 員 1 週間という期間のなか、学生は内記先生の指導のもと測量や発掘に励んでいた。学生にとってよい経験になるので、引き続き、市には協力いただければと思う。

会 長 委員の方々には、それぞれの専門的な立場から、未指定の文化財の基礎的な調査の機会を見つけていただけるとありがたい。

事務局 資料説明、古戦場公園への移動方法説明

<議題 4 旧加藤家住宅の視察>

会 長 資料に沿って解説

会 長 他になければ、以上で令和 8 年度第 1 回長久手市文化財保護審議회를終了する。